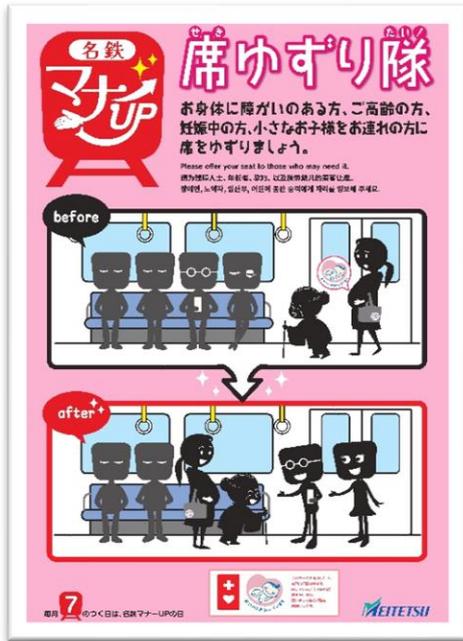


席ゆずり隊

B 親切、思いやり 小学校 中・高学年



ねらい

ちょっとした行動が誰かを笑顔にすることに気づき、自分も誰かのために「〇〇したい」という意識を高める。

資料提示の工夫

before のイラストだけ提示して少し間をおき、「実はこのイラストには after があるのです。after はどんなイラストになっていると思いますか。」と問いかけて、興味・関心を高める。

思考を促す
発問

発問1 (after のイラストを提示して) before と after を比べて気づいたことはなんですか。

※「お年寄りや妊婦さんに席を譲っている」「席を譲った人も譲られた人も笑顔になっている」などという考えが出されるだろう。

発問2 このポスターにはどんなタイトルがついていると思いますか。

※できるだけいろいろな言葉を出させたあと、「席ゆずり隊」という言葉を提示する。

発問3 このクラスにも誰かのために行動する「〇〇隊」があったらいいと思いますか。

※ほとんどの子どもは、あったほうが良いと答えるだろう。その反応を「さすがですね」と受け止めたあと、「どんな『〇〇隊』をつくりませんか」と問いかけ、多様なアイデアを出させる。

ポイント

学年の初めや長期休み明けに授業を行い、学級の友達のためになることを何かやりたいという意識を高め、居心地のよい雰囲気醸成していく。授業後は、子どもたちのアイデアを生かして「〇〇隊」をつかって活動させ、誰かのために行動することのよさを実感させていく。

出典： 名鉄マナーUP キャンペーンポスター

クレジット： 名古屋鉄道